

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 近隣の小中学校との間での行事への招待・参加をはじめ、各種地域ボランティアの訪問を受けるなど交流は盛んに行われている。 訪問調査当日には、フラワーアレンジメントのボランティアが訪れ、利用者は思い思いに花を挿していた。男性利用者の真剣なまなざしが印象的であった。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 推進会議に参加した自治会長の口利きで、隣接する市営公園との間の隔壁フェンスの一部が取り外し可能となった。今後は、ホームの庭から直接公園に入りができる。 前回の運営推進会議では、利用者代表が自身の意見を堂々と発表し、参加した会議メンバーから賛辞を受けた。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 管理者は、市からの福祉行政支援活動依頼に積極的に協力している。 市の担当者も、制度の理解・普及に熱心で、今回の外部評価の現場を見学された。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 話し合いの機会を増やせるよう利用料金の現金收受を行うなど、家族からの意見・要望・苦情の聞き出しに配慮している。 運営推進会議には出席可能な利用者の参加を得て意見を聞き出しており、議事録には利用者の言葉が一言残らず記録されていた。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営推進会議が発足して動き出すまでには数多くの紆余曲折があったが、現在では順調に開催されており、会議本来の目的にかなった姿・効果がみられる。会議の議長を利用者の代表が務めるなど、特筆すべき事例もある。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。